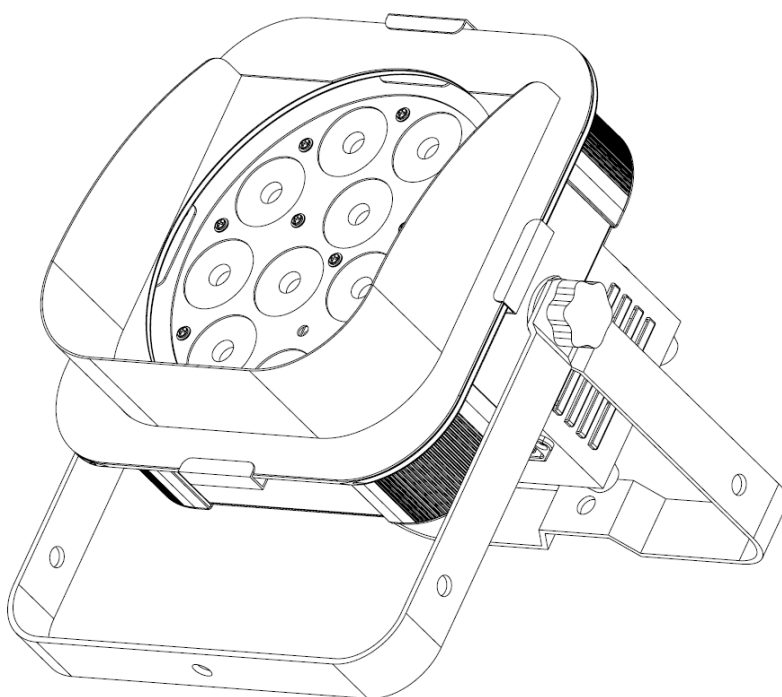




FLAT PAR QA12XS

取扱説明書

Ver 1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ FLAT PAR QA12XS をご購入頂き誠にありがとうございます。FLAT PAR QA12XS は DMX 規格に対応した LED パーライトです。オートモード、サウンドアクティブモード、RGBA モード、スタティックカラーモード DMX モードの 5 種類の動作モードに対応しています。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永く、安全にお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- マルチカラー
- 5 つのオペレーティングモード
- ディミング 0-100%
- サウンドアクティブ対応（本体にマイクを内蔵）
- DMX-512 対応
- 3 ピン XLR の DMX 端子
- DMX チャンネル数は 1、2、3、4、5、6、7、8DMX チャンネルモードの中から選択
- ADJ LED RC2 リモートコントローラー対応（別売）

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり、挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
5. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。アース端子は必ず接続してください。
6. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は、保証対象外となります。
9. 周囲温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
10. 本体は壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。
11. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
12. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

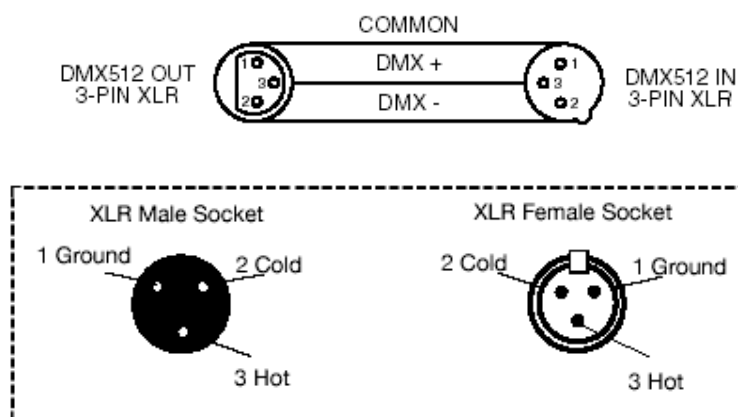
DMXリンク

DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

FLAT PAR QA12XS は最大 8DMX チャンネルを使用するユニットです。DMX アドレスは本体の背面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

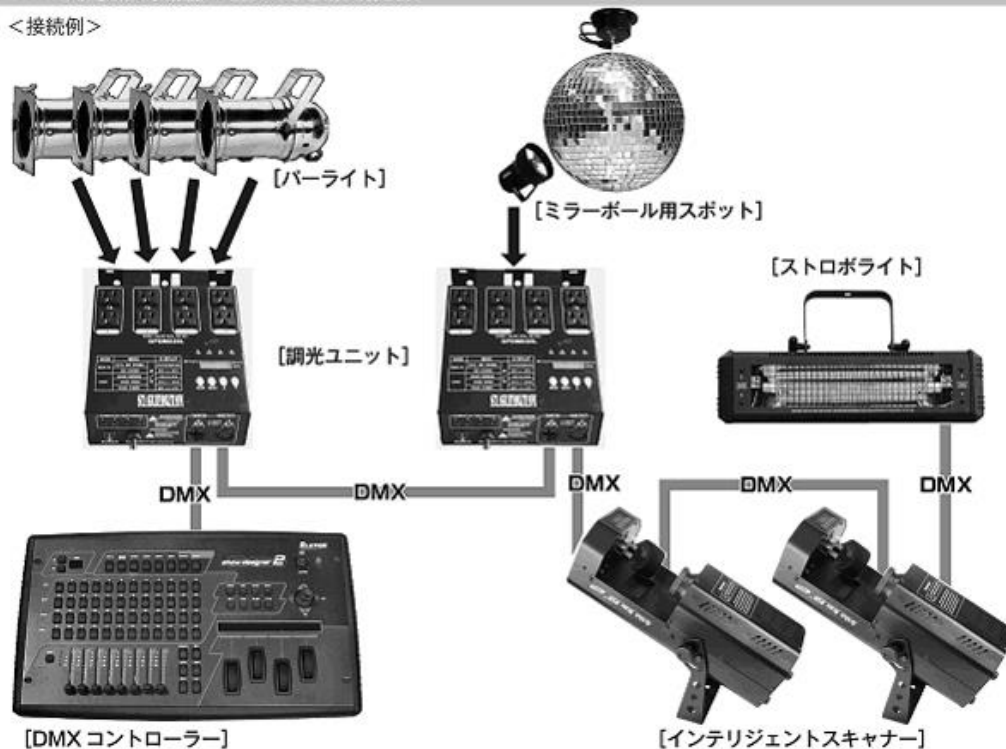


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

メーカーによっては 3 ピン XLR コネクターの代わりに 5 ピン XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクターを FLAT PAR QA12XS に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- ・ DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線にはDMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続することが可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が短くなるように配線してください。
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・ インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか、故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ - 長距離の配線について -

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達が上手くいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合はターミネーターを使用してください。ターミネーターとは、最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合はストロボライト)の OUT 端子に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

基本操作

ディスプレイの表示/非表示

ディスプレイの表示を常時点灯、または 10 秒後に自動消灯のどちらかに設定することができます。

1. ディスプレイに“**don**”または“**doFF**”と表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して任意の設定に変更します。“**doFF**”に設定すると、約 10 秒間操作を行わなかった場合に、自動でディスプレイが消灯します。“**don**”に設定すると、ディスプレイは常時点灯します。

ディスプレイ表示の回転

1. ディスプレイに“**don**”または“**doFF**”と表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. “**Stand**”と表示されるまで SET UP ボタンを押してください。
3. UP/DOWN ボタンを押すと、表示が 180 度回転します。

操作モード

FLAT PAR QA12XS には以下 5 つのモードがあります。

- ・**サウンドアクティブモード** : 内蔵マイクで感知した外部音に反応して色が切り替わります。
- ・**スタティックカラーモード** : 16 種類のプリセットから任意の固定色を選択します。
- ・**オートモード** : 自動で色が変わります。3 種類のタイプから選択します。
- ・**RGBW ディマーモード** : 各色を任意の明るさに設定します。
- ・**DMX コントロールモード** : 外部 DMX コントローラーで操作します。

サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した外部音に反応して、色が切り替わります。

1. ディスプレイに“**S0-1**”～“**S0-16**”のいずれかが表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. 数字はパターンナンバーを表します。UP/DOWN ボタンを押して、任意のパターンを選択してください。
3. SET UP ボタンを押すとディスプレイに**SJ-1**～**SJ-8**のいずれかが表示されます。数字はマイクの感度を表します。UP/DOWN ボタンを押して感度を設定してください。**SJ-1**は感度が最も低く、**SJ-8**は感度が最も高くなります。

スタティックカラーモード

プリセットされた色を呼び出します。

1. ディスプレイに“CL- 1”～“CL- 16”のいずれかが表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. 数字はカラーナンバーを表します。UP/DOWN ボタンを押して任意のカラーを選択してください。
3. SET UP ボタンを押すとフラッシュ(ストロボ)モードとなり、FS00～FS 15のいずれかが表示されます。数字は点滅スピードを表します。UP/DOWN ボタンを押して点滅スピードを選択してください。FS00は点滅なし、FS0 1は最も点滅スピードが遅く、FS 15は最も点滅スピードが速くなります。

オートモード

自動で色が変化します。カラーフェード、カラーチェンジ、カラーフェード/カラーチェンジの 3 タイプから選択します。

1. ディスプレイに“AF- 1”～“AF- 16”、“RJ- 1”～“RJ- 16”、または“R- JF”と表示されるまで MODE ボタンを押します。SET UP ボタンでそれぞれのモードをスクロールできます。
 - A) “AF- 1”～“AF- 16” カラーフェード : UP/DOWN ボタンでパターンを切り替えます。
 - B) “RJ- 1”～“RJ- 16” カラーチェンジ : UP/DOWN ボタンでパターンを切り替えます。
 - C) “R- JF” : カラーフェード/カラーチェンジ
2. 希望のモードを選択した後、SET UP ボタンを押すと“SP.XX”と表示されます。UP/DOWN ボタンを押してプログラムの動作スピードを設定します。SP0 1は最もスピードが遅く、SP 16は最もスピードが速くなります。再び SET UP ボタンを押すと、モード選択に戻ります。

RGBW ディマーモード

ディスプレイが以下の表示のいずれかになるまで MODE ボタンを押し、各色の調整を行います。

1. r000 ～ r255 赤 LED ディミングモード : UP/DOWN ボタンで明度を調整します。調整が終わったら、SET UP ボタンで次に移ります。
2. G000 ～ G255 緑 LED ディミングモード : UP/DOWN ボタンで明度を調整します。調整が終わったら、SET UP ボタンで次に移ります。
3. b000 ～ b255 青 LED ディミングモード : UP/DOWN ボタンで明度を調整します。調整が終わったら、SET UP ボタンで次に移ります。
4. h000 ～ h 100 白 LED ディミングモード : UP/DOWN ボタンで明度を調整します。調整が終わったら、SET UP ボタンで次に移ります。
5. FS00 ～ FS 15 ストロボモード: UP/DOWN ボタンで点滅スピードを調整します。FS00は点滅なし、FS0 1は点滅スピードが最も遅く、FS 15は最も速くなります。

DMX モード

外部 DMX コントローラーで制御を行います。FLAT PAR QA12XS では、8 つのモードから DMX チャンネル数を選択することができます。

各モードの詳細については、DMX 表を参照してください。

[接続及び設定方法]

1. ディスプレイに **dm001** と表示されるまで MODE ボタンを押し、UP/DOWN ボタンを押して DMX アドレスを設定します。SET UP ボタンを押し、DMX チャンネルモードを選択します。

1ch モード : **Ch01**

2ch モード : **Ch02**

3ch モード : **Ch03**

4ch モード : **Ch04**

5ch モード : **Ch05**

6ch モード : **Ch06**

7ch モード : **Ch07**

8ch モード : **Ch08**

2. DMX 表と DMX コントローラーのマニュアルを参照しながら制御を行ってください。
3. 希望の DMX チャンネルモードを選択したら、FLAT PAR QA12XS と DMX コントローラーをデジタル XLR ケーブルで接続します。

デフォルト設定に変更

全てのモードの値をデフォルトに戻すことができます。

1. “**don**” または “**doFF**” と表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. “**deFF**” と表示されるまで SET UP ボタンを押します。
3. UP ボタンと DOWN ボタンを同時に押します。MODE ボタンで終了します。

赤外線リモコンの設定

本製品は ADJ LED RC2 コントローラーで操作することができます。コントローラーの詳細な説明は後述をご覧ください。

1. “**don**” または “**doFF**” と表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. SET UP ボタンを押すと、“**Iron**” または “**Ir oFF**” と表示されます。“**Iron**” でリモートコントロールをオン、“**doFF**” でオフとなります。

マスター/スレーブモード

接続した複数の FLAT PAR QA12XS を同期させることが可能です。

[接続及び設定方法]

1. マスターとなる灯体を 1 台選びます。
2. 本体の背面にデジタル 3 ピン XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結してください。マスター灯体が始点となるようにし、ケーブルの XLR オスコネクタを DMX OUT 端子に接続します。
3. マスターユニットを任意のモードに設定します。スレーブユニットがマスターユニットに同期して動作します。

電源コードの連結

IEC インput/アウトputソケットを使用することで、最大 7 個までの機器を連結できます。

8 個以上は別の電源を取る必要があります。また、異なった種類の機器を混ぜて連結しないでください。

ワイヤレスリモコン(別売)について

別売のワイヤレスリモコン ADJ LED RC2 で、赤外線により FLAT PAR QA12XS の機能を制御することができます。

BLACK OUT : LED が暗転します。

PROGRAM SELECTION : スタティックカラーモード、カラーフェードモード、カラーチェンジモード、カラーフェード & カラーチェンジモードの 4 モードに設定します。ボタンを押すたびに次のモードに切り替わります。

・赤色 LED が 2 回点滅した場合、スタティックカラーモードを表します。SPEED ボタンを押し、+/- ボタン、または 1-15 までの数字を押し、希望のカラーを選んでください。FLASH ボタンでストロボがオンになります。+/- ボタンで速度を調整してください。

・青色 LED が 2 回点滅した場合、カラーフェードモードを表します。SPEED ボタンを押し、+/- ボタンでカラーフェードの速度を調整してください。

・白色 LED が 2 回点滅した場合、カラーチェンジモードを表します。SPEED ボタンを押し、+/- ボタンでカラーチェンジの速度を調整してください。

FLASH : ストロボエフェクトを有効にします。+/- ボタンにより点滅速度を調整できます。ストロボをオフにするには、もう一度押してください。

SPEED :カラーフェードモードとカラーチェンジモードで、このボタンと+/-ボタンでカラーフェードとカラーチェンジの速度、音の感度調整が行えます。

DMX MODE :DMXモードにし、DMXチャンネルモードを選択します(次頁参照)。

SL/SA(スレーブ/サウンドアクティブ) :スレーブモードとサウンドアクティブモードを切り替えます。サウンドアクティブモード時は+/-ボタンを押し、16のサウンドアクティブモードを選択できます。音の感度はSPEEDボタンと+/-ボタンで調整してください。

SET ADDRESS:DMXアドレスを設定します。このボタンを押してから、3ケタの希望のDMXアドレスの番号を押してください。

例:DMXアドレス1 → 0-0-1 / DMXアドレス245 / 2-4-5

R G B W:各色の明るさを調整します。+/-ボタンにより明るさを調整できます。

+/- : ストロボ速度、プログラムスピード、サウンドアクティブのマイク感度、内蔵プログラムの切り替え時に使用します。

DMX チャンネルモードと DMX アドレスの設定

以下の手順に従って、DMX チャンネルモードとアドレスを設定してください。

1. DMX MODEボタンを押し、DMXチャンネルモードを設定します。+/-ボタンを使用し、任意のDMXチャンネルモードを選択してください。DMXチャンネルモードは下記のとおりです。

- 1DMX チャンネルモード : 赤色 LED が点灯
- 2DMX チャンネルモード : 緑色 LED が点灯
- 3DMX チャンネルモード : 青色 LED が点灯
- 4DMX チャンネルモード : アンバー色 LED が点灯
- 5DMX チャンネルモード : 赤色・緑色 LED が点灯
- 6DMX チャンネルモード : 赤色・青色 LED が点灯
- 7DMX チャンネルモード : 赤色・アンバー色 LED が点灯
- 8DMXチャンネルモード : 緑色・青色LEDが点灯

2. DMX チャンネルモードを選択後、“S”ボタンを押し、DMX アドレスを設定します。“S”ボタンを押すと、LED が 2-3 回点滅した後、赤色 LED が点灯します。ナンバーボタンを押して任意のDMX アドレス 3 桁を入力します。

※ DMXアドレス入力の際、数が入力される度にLEDが点灯し、アドレスの入力が終わると2-3回点滅します。

3. 灯体とDMXコントローラーをデジタル XLR ケーブルで接続します。各 DMX モードについては後述をご参照ください。

- DMX 表 -

1 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 015	<u>カラーマクロ</u> ブラックアウト
	016 - 031	赤
	032 - 047	緑
	048 - 063	青
	064 - 079	アンバー
	080 - 095	赤、緑
	096 - 111	赤、青
	112 - 127	赤、アンバー
	128 - 143	緑、青
	144 - 159	緑、アンバー
	160 - 175	青、アンバー
	176 - 191	赤、緑、青
	192 - 207	赤、緑、アンバー
	208 - 223	赤、青、アンバー
	224 - 239	緑、青、アンバー
	240 - 255	赤、緑、青、アンバー

2 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 - 255	<u>カラーマクロ</u> ※1 チャンネルモード参照
2	001 - 255	<u>ディマー</u> 0%-100%

3 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 - 255	<u>カラーマクロ</u> ※1 チャンネルモード参照
2	001 - 255	<u>ディマー</u> 0%-100%
3	000 - 015 016 - 255	<u>ストロボ</u> オフ ストロボ 遅 → 速

4 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 - 255	<u>赤</u> 0%-100%
2	001 - 255	<u>緑</u> 0%-100%
3	001 - 255	<u>青</u> 0%-100%
4	001 - 255	<u>アンバー</u> 0%-100%

5 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 - 255	<u>赤</u> 0%-100%
2	001 - 255	<u>緑</u> 0%-100%
3	001 - 255	<u>青</u> 0%-100%
4	001 - 255	<u>アンバー</u> 0%-100%
5	001 - 255	<u>マスターディマー</u> 0%-100%

6 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 - 255	<u>赤</u> 0%-100%
2	001 - 255	<u>緑</u> 0%-100%
3	001 - 255	<u>青</u> 0%-100%
4	001 - 255	<u>アンバー</u> 0%-100%
5	001 - 255	<u>マスターディマー</u> 0%-100%
6	001 - 255	<u>カラーマクロ</u> ※1 チャンネルモード参照

*チャンネル 6 が使用されている場合、チャンネル 1-4 は動作しません。

7 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 - 255	<u>赤</u> 0%-100%
2	001 - 255	<u>緑</u> 0%-100%
3	001 - 255	<u>青</u> 0%-100%
4	001 - 255	<u>アンバー</u> 0%-100%
5	001 - 255	<u>マスターディマー</u> 0%-100%
6	001 - 015 016 - 255	<u>ストロボ</u> 無 ストロボ動作 遅-速
7	001 - 255	<u>カラーマクロ</u> ※1 チャンネルモード参照

*チャンネル 7 が使用されている場合、チャンネル 1-4 は動作しません。

8 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	001 – 255	<u>赤</u> 0%–100%
2	001 – 255	<u>緑</u> 0%–100%
3	001 – 255	<u>青</u> 0%–100%
4	001 – 255	<u>アンバー</u> 0%–100%
5	001 – 255	<u>マスターディマー</u> 0%–100%
6	001 – 015 016 – 255 000 – 255 000 – 031 032 – 255	<u>ストロボ/プログラムスピード/音の感度</u> 無 ストロボ動作 遅→速 プログラムスピード 遅→速 感度 無 感度 低→高
7	000 – 051 052 – 102 103 – 153 154 – 204 205 – 255	<u>ディマー/スタティックカラー選択/カラーチェンジ選択/カラーフェード選択</u> ディマーモード カラーマクロモード カラーチェンジモード カラーフェードモード サウンドアクティブモード
8	001 – 255 000 – 015 016 – 031 032 – 047 048 – 063 064 – 079 080 – 095 096 – 111 112 – 127 128 – 143 144 – 159 160 – 175 176 – 191 192 – 207 208 – 223 224 – 239 240 – 255 000 – 015	<u>カラーマクロ/各モード</u> カラーマクロ <u>カラーチェンジモード</u> カラーチェンジ 1 カラーチェンジ 2 カラーチェンジ 3 カラーチェンジ 4 カラーチェンジ 5 カラーチェンジ 6 カラーチェンジ 7 カラーチェンジ 8 カラーチェンジ 9 カラーチェンジ 10 カラーチェンジ 11 カラーチェンジ 12 カラーチェンジ 13 カラーチェンジ 14 カラーチェンジ 15 カラーチェンジ 16 <u>カラーフェードモード</u> カラーフェード 1

016 – 031	カラーフェード 2
032 – 047	カラーフェード 3
048 – 063	カラーフェード 4
064 – 079	カラーフェード 5
080 – 095	カラーフェード 6
096 – 111	カラーフェード 7
112 – 127	カラーフェード 8
128 – 143	カラーフェード 9
144 – 159	カラーフェード 10
160 – 175	カラーフェード 11
176 – 191	カラーフェード 12
192 – 207	カラーフェード 13
208 – 223	カラーフェード 14
224 – 239	カラーフェード 15
240 – 255	カラーフェード 16
	<u>サウンドアクティブモード</u>
000 – 015	サウンドアクティブモード 1
016 – 031	サウンドアクティブモード 2
032 – 047	サウンドアクティブモード 3
048 – 063	サウンドアクティブモード 4
064 – 079	サウンドアクティブモード 5
080 – 095	サウンドアクティブモード 6
096 – 111	サウンドアクティブモード 7
112 – 127	サウンドアクティブモード 8
128 – 143	サウンドアクティブモード 9
144 – 159	サウンドアクティブモード 10
160 – 175	サウンドアクティブモード 11
176 – 191	サウンドアクティブモード 12
192 – 207	サウンドアクティブモード 13
208 – 223	サウンドアクティブモード 14
224 – 239	サウンドアクティブモード 15
240 – 255	サウンドアクティブモード 16

*チャンネル 7 が 000-051 の時、チャンネル 1-4 が使用され、チャンネル 6 はストロボをコントロールします。

*チャンネル 7 が 052-102 の時、チャンネル 8 がカラーマクロモードに使用され、チャンネル 6 はストロボをコントロールします。

*チャンネル 7 が 103-153 の時、チャンネル 8 がカラーチェンジモードに使用され、チャンネル 6 はストロボをコントロールします。

*チャンネル 7 が 154-204 の時、チャンネル 8 がカラーフェードモードに使用され、チャンネル 6 はストロボをコントロールします。

*チャンネル 7 が 205-255 の時、チャンネル 8 がサウンドアクティブモードに使用され、チャンネル 6 は音の感度をコントロールします。

設置方法

本製品は天井から吊り下げたり、横にしてトラスなどに設置したり、平らな場所に置いて使用することができます。マウンティングクランプ(別売)をマウンティングブラケット(付属)に付け、設置してください。振動の強い場所や滑りやすい場所への設置は避け、取り付ける際には 本体の 10 倍程度の重量に耐えられる場所に取り付けてください。また、本体の 12 倍程度の重量に耐えられるセーフティーケーブルをご使用ください。

ヒューズ交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の下にあるヒューズホルダーを、ドライバーなどで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを元に戻します。

メンテナンス方法

使用頻度、環境に応じたメンテナンスを行ってください。

※ メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、柔らかい布で外側のケースを拭きます。
2. 外側のレンズは、ガラスクリーナーで 20 日に 1 度クリーニングしてください。
3. クリーニング後電源を入れる前に、本体が完全に乾いているか確認してください。

クリーニングの頻度は環境によって異なりますが、頻繁に使用される場合、月に一回程度のクリーニングを行ってください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
DMX で動作しない	・ 接続に問題がないか ・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか
サウンドアクティブで動作しない	・ 外部音が小さい音や高音でないか ・ サウンドアクティブがオンになっているか

製品仕様

モデル	FLAT PAR QA12XS
LED	5W 4-in-1 RGBW LED x 12 個
ビーム角	25 度
DMX チャンネル	1、2、3、4、5、6、7 チャンネルモードの中から選択
電源コード連結数	最大 7 個
消費電力	80W
ヒューズ	1A 20mm
電圧	AC100V、50/60Hz
重量	3.2Kg
寸法	32.8L × 28.0W × 11.5D cm

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より 1 年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

